

# 京大ベンチャーファンド

ご案内



京都大学  
KYOTO UNIVERSITY



国際経済の沈滞が杞憂される昨今ですが、打開策は独自のイノベーション創生です。このための旗手は“ベンチャー企業”であり、この起業・育成は国の将来を左右するほどの意味をもっています。京大ベンチャーファンドの助けで京都大学の研究結果が我が国の技術再立国に貢献できることを切望しています。

京都大学 産官学連携本部長  
牧野 圭祐



京都大学に関連する有望なベンチャー企業を多面的に支援し産学連携の成果を生み出して参りたいと思います。事業の初期段階から経営に参画し「ベンチャー企業とともに歩んで行く」ことこそが、NVCCの基本理念です。我々の活躍に是非ご期待下さい。

日本ベンチャーキャピタル株式会社 社長  
奥原 圭一



## 設立趣旨

京大ベンチャーファンドは、京都大学にある研究成果の起業化を促進するため、そして京都大学に関連するベンチャー企業等を多面的に支援し、企業の成長を促進するために設立されました。日本ベンチャーキャピタル株式会社が機関投資家や事業会社から集めた資金を、京大教員や大学院生、卒業生などが設立したベンチャー企業、京都大学と関連のあるベンチャー企業などに投資し、投資先企業はその資金で研究開発や製品試作、商品開発を実施します。こうしたスキームにより、京大ベンチャーファンドは、京都大学の知的資源の事業化に貢献します。

## 設立経緯

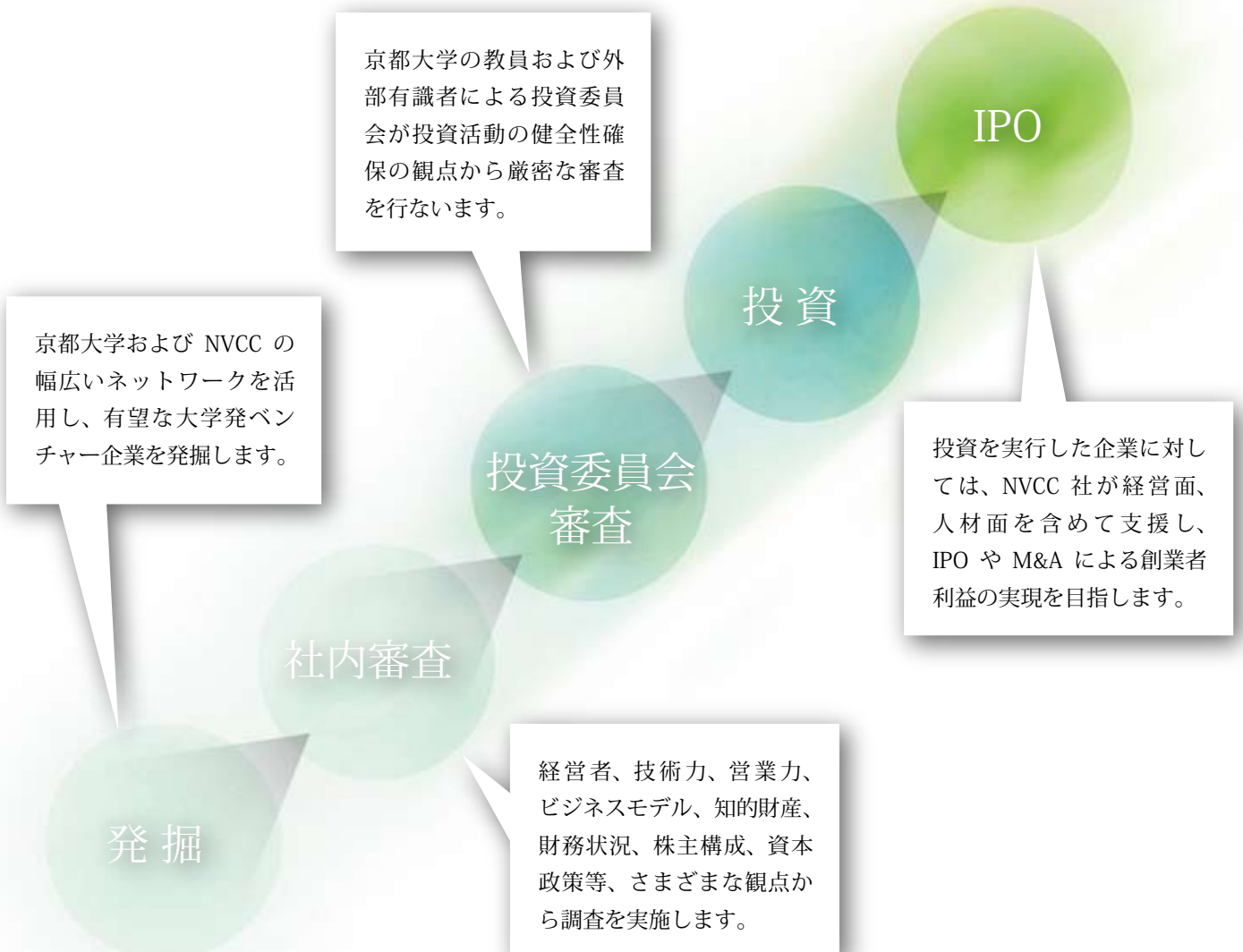
2007年5月22日、京都大学と日本ベンチャーキャピタル株式会社（略称 NVCC）は、ベンチャーファンド「京大ベンチャー NVCC 1号ファンド」の設立を発表しました。京都大学産官学連携本部ではベンチャー支援活動の一環としてトランザクション・データ（取引や業務に関する定量的な企業行動データ）を収集・分析し、ベンチャー企業成長の規定要因の研究など、科学的な手法に立脚した育成・支援ノウハウの開発・蓄積を行なっています。そのための組織として、2007年8月1日に産官学連携センター（当時）に NVCC による寄附研究部門「イノベーション・マネジメント・サイエンス研究部門」が設置されました。2007年8月31日にファンドが組成され、ファンド総額は45億円に達しました。

## ベンチャーファンドとは

本来、「ファンド」とは基金や積立金などのまとまった資金のことですが、狭義には出資者から募り、その運用で収益をあげ、出資者に還元する「投資ファンド」を意味します。近年はこれが「ファンド」と略称され、またベンチャー企業向け投資ファンドが「ベンチャーファンド」と呼ばれるようになっていきます。

京大ベンチャーファンドは、日本ベンチャーキャピタル株式会社（略称 NVCC）が業務執行者となり、京都大学関連のベンチャー企業に対する投資および育成を行なうもので、京都大学、NVCC それぞれのネットワークを最大限活用して、ベンチャー企業に対する資金面、経営面、人材面のサポート（ハンズオン）を推進します。

## 投資に至るまで



## 投資対象基準

1. **京都大学の研究をもとにしたベンチャー企業**
2. **京都大学関係者が起業に関係するベンチャー企業**  
起業の定義には、京都大学が関連する者が株主として創業時に出資した場合、現在代表者や CTO 等、取締役の中心メンバーが京都大学に関連する者である場合等を含む
3. **京都大学との共同研究によって発生したベンチャー企業**  
共同研究契約等のほか公的助成金の共同申請を行っている場合、京都大学の教員が顧問・アドバイザーに就任している場合等を含む
4. **その他、京都大学とシナジーのあるベンチャー企業等**  
京都大学との共同研究や京都大学からのライセンス取得が見込める場合等

## 投資パターン例

### 学生、院生ของบริษัท

「自分の持っているアイデアを社会に聞きたい。」  
「自分の研究テーマに市場性がありそうなので、実際にビジネスとして立ち上げたい。」

#### 考えられる支援方法

技術の新規性や市場性を一緒に検討しながら、急成長ベンチャーの立ち上げを支援します。

### 卒業生設立の会社

「卒業してから、何年間たち、ビジネスマンとしての成果も上がってきた。このタイミングで、起業を検討したい。」  
「会社設立から数年たち、そろそろ外部資金を入れて、勝負したいと思っている。」

#### 考えられる支援方法

京都大学の卒業生の隠れたアドバンテージは、大学関連のベンチャーファンドからの投資検討を受けられることです。信用強化の観点から、京都大学のネットワークを活用してみたいかがでしょうか。

### 京都大学の知財を活用している会社

「京都大学との共同プロジェクトから生まれた技術をもとに、会社を大きくしたい。」  
「京都大学からの知財のライセンスを期に会社が成長ステージに入りつつある。外部からの資金を入れて、大きく成長を遂げたい。」

#### 考えられる支援方法

京都大学の知財が広く社会に役立てるように、資金面からのサポートが可能です。京大の知財を活用したビジネスを是非拡大して下さい。

# NVCC について

Power for The Venture Spirit.

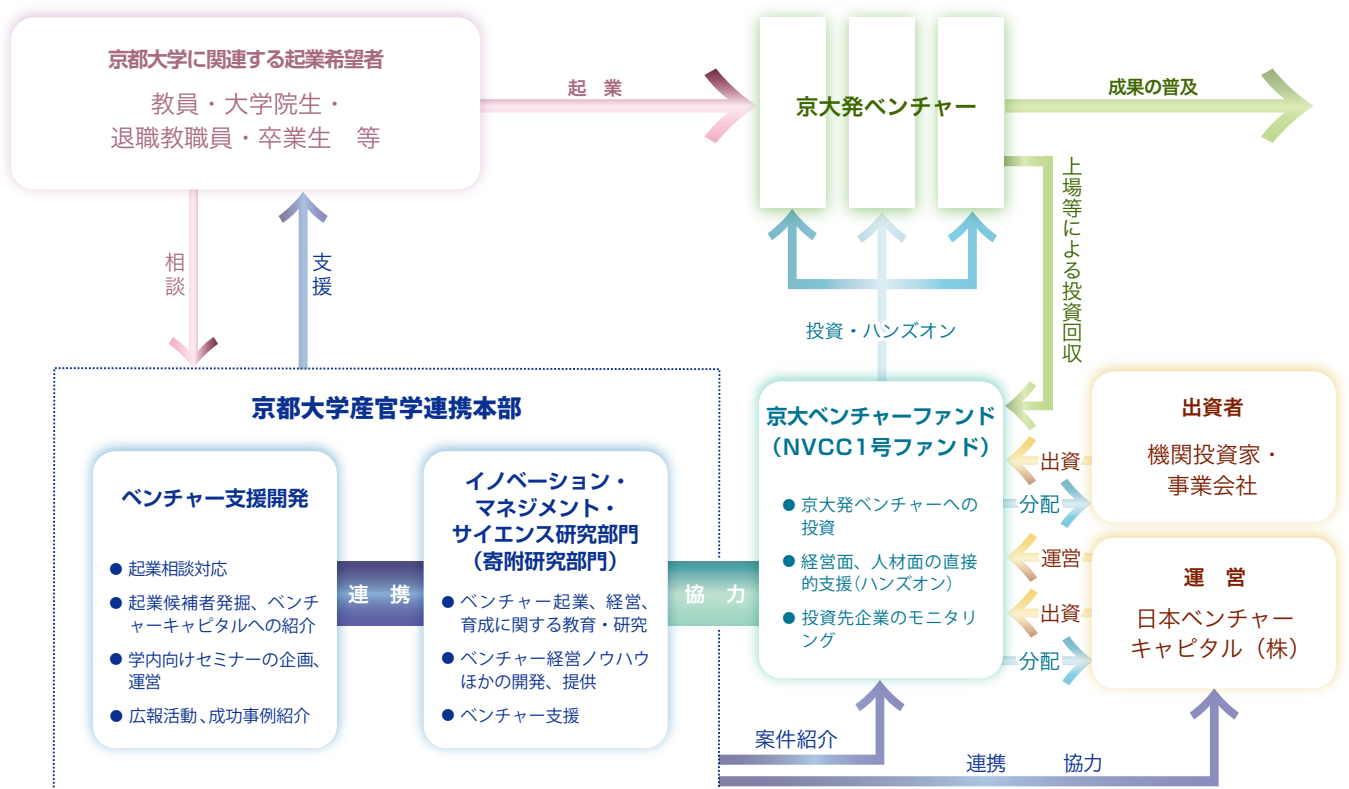
## 価値ある挑戦、未来の可能性へ。

日本ベンチャーキャピタルは、わが国の次世代を担う起業家・ベンチャー企業を応援してまいります。

日本ベンチャーキャピタル株式会社（NVCC）は、自らベンチャー企業を興し、現在、各分野で成功をおさめている事業家や、ベンチャー支援に熱意を持つ大手企業などが結集し、これまでとは異なる、支援型の本格的なベンチャーキャピタルをめざして、1996年に設立されました。

各専門分野の経験豊かな事業家たちの協力をもとに、わが国の次世代を担う起業家・ベンチャー企業に対して、中立的なスタンスで多面的に応援してまいります。

### ファンドスキーム



### ファンド概要

正式名称 ● 京大ベンチャー NVCC1 号投資事業有限責任組合

ファンド規模 ● 45 億円

ファンド期間 ● 2007 年 8 月より 10 年間

## 連絡先

### ■京都大学産官学連携本部

〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
TEL : 075-753-5536  
E-mail : info@saci.kyoto-u.ac.jp

### ■日本ベンチャーキャピタル株式会社 西日本支社

〒541-0042 大阪市中央区今橋3丁目2番20号  
TEL : 06-6231-2163  
FAX : 06-6231-2050  
URL : <http://www.nvcc.co.jp>